

できる限り、お客様のご希望に添う家に仕上げたい  
 厳しい条件にこそ情熱を燃やす、Beハウス

綿密な打ち合わせと  
 予想以上の提案で対応

野田・柏をはじめ、松戸・我孫子・船橋・千葉エリアに多数の施工実績を持つ、Beハウス柏設計室。「私の仕事は、お客様が気に入った家を建てるお手伝いをする事。いろいろなとお話をうかがってご提案しながら、一緒に家づくりをしていきたい。お客様の満足いく家であればこそ、大事に長く住んでいただけて、生活にもプラスになるのではないだろうか」と、室長の横田守さん。今回のU様邸の場合も、奥様を中心に、綿密な打ち合わせの中からプランがまとまっていきました。

U様 ● Beハウスさんは知人の紹介もあり、またインターネットでも調べて、自分の思い通りの家ができるという話は以前から聞いていました。実はほかの会社にも見積もりを出してもらっていたのですが、あまり自由にならない感じで、施工支給や施工施工について聞いてみても「どういいうのは、うちはちょっと困ります」と言われたり。

横田 ● 普通の建築会社では嫌がられますが、当社は原価公開方式ですので、お客様が建材などを全てご用意されても構いませんし、可能な部分はご自身で施工されるのもOK。そこも大きなポイントだったと思います。

U様 ● 例えばガラスブロックなどは、ホームセンターの方が安いと聞いて買いに行きましたし、玄関ポーチの屋根やバルコニーの手すりなどは、主人に取り付けをしてもらい、材料費や人件費をかなり抑えられました。

横田 ● 内部の空間構成では勾配天井を多用し、開口部の形状などもそれに合わせ、採光や通風、防音や視線など各方面に気を配りながらプランを作成しました。

U様 ● 天井の高い家にあこがれていたのに、とにかく吹き抜けは外せない条件でした。最初にプランをお願いしたのは本当に普通の工務店さんだったので、私が細かいことをいろいろと言ったら、「うちではやったことがないからなあ……」という感じで引かれてしまいました。

横田 ● 私はむしろ普通の家よりも、難しい条件の方がやりが



(左)リビングの床は大理石調のフローリング、純白の壁とともにモダンでクールな印象です  
 (右上)やはりご主人が設置した玄関のポーチ屋根、このあと縦格子を入れて目隠しをつくる予定です  
 (右下)バルコニーの手すりも、ご主人による施工です



キッチンのガラスブロックや壁の小物入れにも、奥様のセンスが光っています



U様ご家族と、横田さん(左端)

いを感じます。この家の場合もベースは箱形総二階ですが、配色やサイディングの使い分けによつて外観に変化を付けた方がいいと思い、いろいろと考えて何種類かご提案させていただきました。U様 ●最後の最後になって「やっぱりこうしたい」と(笑)。私の要望を全部聞き入れていただけて、本当に思い通りに建てられました。

横田 ●かなり打ち合わせを重ねて、細部まで奥様のご希望に添う家になったと思います。

U様 ●実は隣が姉夫婦の家で、どこで建てようかという話になったとき、「もうBeハウスしかない、ほかの会社の見積りなんて取らなくていいから」とお薦めしました(笑)。姉もけっこうこだわりが強い方なんですけど、「こんなに注文をつけてこの値段でできたのは、Beハウスならではじゃないかな」と言っています。

(取材/池田充雄)



(左)高い吹き抜けと勾配天井により、開放感あふれるリビング  
 (中)吹き抜けに面した2階のユーティリティールーム。トップライトからの光がリビングにもこぼれます  
 (右)U様邸外観、サイディングは白のリブ状とグレーのスクラッチストーンを使い分け、屋根形状も切り返しを入れ、一部を片流れにして変化をつけました



Beハウス

—デザイナーとつくる家—

<http://www.behouse.jp/>